

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

公益社団法人けいしん神奈川
---------------

## ②施設・事業所情報

名称：大和市立福田保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：川手 弘子	定員（利用人数）： 130（121）名
所在地：大和市福田8-22-5	
TEL：046-267-0995	ホームページ： <a href="http://yamato.lg.jp">大和市/大和市立福田保育園</a> (yamato.lg.jp)
【施設・事業所の概要】	
開設年月日： 昭和54年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：大和市	
職員数	常勤職員： 26名      非常勤職員      13名
専門職員	園長                      1名      嘱託医（内科医1人・歯科医1人）
	副園長                    1名
	保育士                    24名
施設・設備 の概要	（居室数）事務室1・保育室6・教材室2・更衣室1      （設備等）鉄筋コンクリート2階建
	配膳室1・調理室1・調理員休憩室1・職員休憩室1      冷暖房完備・防音サッシ2重窓
	園児用トイレ室3

## ③理念・基本方針

## ■保育理念

- ・子どもの心とからだ（生きる力）の基礎を育む
- ・子どもの最善の利益
- ・福祉の増進

## ■保育目標

- ・健康な子ども
- ・みんなと楽しく遊べる子ども
- ・心豊かな意欲的な子ども

## ■基本方針

- ・健康・安全な環境の中で、子どもの豊かな感性や健やかな心と体が育つように愛情と誠意を持った保育をします。
- ・一人ひとりの成長の芽を大切に、遊ぶ楽しさや、友達と一緒にいる喜びなどを感じられる保育を大切にします。
- ・子どもと保護者のおかれた状況や意向を受け止めながら保護者と手を取り合い、子育ての喜びや楽しさを共感し合える保育を目指します。
- ・地域育児センターとして関係機関との連携を図り、地域の子育てを支援します。

④施設・事業所の特徴的な取組

当園は、引地台公園南側の住宅地の一角に位置し、公園を園庭のように利用できる環境に恵まれた公立の保育園です。緑豊かな自然環境を生かし、戸外で思う存分に身体を動かしながら探索活動を通じて四季の移り変わりを肌で感じとり、昆虫や動植物に直接触れることで発見や驚きを経て、興味や好奇心の獲得へとつなげ、感性豊かな心の育みを大切にして保育に取り組んでいます。当園の特徴的な取り組みは以下の通りです。

- ・保育理念に基づき、保育指針に沿った主体性のある保育を目指し、子どもの思考や活動への意欲を高める保育を実施しています。
- ・市内における保育の質と向上を図る基幹園としての役割を責務とし、個別に支援が必要な子どもや外国籍の子どもを積極的に受け入れています。また家庭環境に課題を抱える子どもに対しては関係機関との連絡を密に行い、調整しながら、より良い家庭支援につながるよう、連携を強化しています。
- ・七夕集会等の行事では、近所の高齢の方やグループホーム入居者の方を招待するなど、子どもが異世代と触れ合う機会を大切にしています。また、園に隣接する介護老人福祉施設には定期的に訪問し、交流を図っています。
- ・自治会には毎月発行している園便りを配布し、地域の皆様に回覧していただきながら園での様子をお伝えしていくことを重ね、地域に開かれた保育の運営に努めており、毎年秋には、地区社協主催の地域福祉演芸会に招待され、年長児が大勢の高齢の方の前で、踊りや歌を披露するなど、交流を深めています。
- ・地域育児センターとして、子育て支援を担当する保育士が近隣の認可外保育施設を含む16の施設等へ定期的に訪問し、保育が行われている場に実際に参加しながら公立保育園で行っている保育内容の工夫や発見等を参考とした情報提供を行う中で、保育の安全に資する助言等を行い、市内における保育の底上げに努めています。また、園舎開放のあそぼう会の実施、コミュニティーセンターや学習センターでの育児講座の開催など、地域の子育て世代が気軽に参加できる保育環境となるよう取り組んでいます。
- ・0歳児の午睡中の事故防止を目的に、市が無償ですべての保育施設等に配布している体動センサについて、0、1歳児の担任保育士が近隣16の配布施設に訪問し、使用状況等を確認し、保育の安全に資する助言等を行っています。また個別に支援を必要とする子どもの保育方法等について、特別支援保育の研修等を開催し、民間保育施設で勤務する保育士等と一緒に学ぶ機会を設けています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年4月14日（契約日） ～ 令和3年3月16日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成25年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

■子どもの主体的な保育を展開しています。

新保育所保育指針に沿って子どもの主体性ある保育を展開しています。子どもの興味・関心を図式化する手法である「保育ウェブ」を活用し子どもの意欲を育む保育を展開しています。可視化することで見通しが立てやすく、従って指導計画が立てやすく、また評価がしやすい点が特徴です。保育士は子どもの興味・関心の方向性を予想し、遊びの活動を更に広げるよう取り組んでいます。「幼児期の終わりに育てて欲しい姿」を全体的な計画の5領域に反映させ、10の姿がどこの育ちにつながっているのか事例研修を通して意見交換し、共通認識を高めています。

■地域子育て事業を通して、大和市の保育の質の向上に貢献しています。

大和市の地域育児センターとして地域の子育て支援を通して地域に根差した保育を展開しています。子育て支援担当保育士が民間保育園に定期的に訪問し交流を図り、大和市の保育の質の向上につなげています。地域子育て連絡会を自ら主催し、地域の社会資源と連携を図りながら虐待予防や地域子育て支援を実施しています。特別支援保育については公立4園が音頭をとり、民間保育園と一緒に学ぶ機会を設けています。行政機関の基幹園として、県の施設監査同行を実施し保育支援を図るとともに、市が配布した体動センサの稼働把握の訪問を行い、睡眠時の事故防止と乳児の安全に取り組んでいます。

■園長のリーダーシップの下、良好なチームワークを築いています。

園長は職員全員が働きやすい職場を目指し各部門やプロジェクトのリーダー等と認識や課題を共有しています。職員の自主性に任せつつ職員自らが課題を解決できるよう助言しています。職員間のチームワークは良好であり、園全体で子どもを見守る体制ができています。職員間の連携もよく、互いに信頼関係ができているのでなんでも言える風通しの良い職場環境です。今回の職員面談では、「園長は職員と一緒に考えてくれ、問題解決のヒントを示してくれるので働きやすい職場である」との感想がありました。

◇改善を求められる点

■保育士同士が「保育について語り合う」風土の継続を期待しています。

現在、福田保育園では保育を語る職員集団を目指して検討会議を進めています。しかしながら毎年異動等により保育者の入れ替わりがあることから、「保育について語る」風土が全職員に浸透していない場合もあります。保育者一人ひとりが「福田保育園らしい保育」の重要性を理解し承継することで、より質の高い「保育について語り合う」福田保育園になることを期待しています。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価受審にあたり、職員をグループに分けて、マニュアルの見直し等、評価項目に合わせて確認作業を行いました。職員が意見を出し合い振り返りを行うと、職員間で再度保育業務を見直すきっかけとなり、日々の保育に繋げることが出来ました。

特に保育内容については、主体性のある保育を展開していく中で自己評価を行うことにより、自分たちの保育を確認することが出来ました。運営に関した内容は日々実施しているとは言え、文面に記述することで、再確認することが多く、管理者として学びの多い内容でありました。

コロナ禍の折、新しい生活様式の確立、変更における事案の保護者の理解等、例年とは違う業務が多く、職員一同大変ではありましたが、保護者支援を含めた日々の保育業務を丁寧に実施する中で無理なく進めることが出来ました。

利用者アンケートで頂いた意見、要望については真摯に受け止め、職員に共有し改善に努めていきたいと思えます。今後も保育の質の向上に向け研鑽を重ね、専門性を活かした保育や特別支援保育、子育て支援等を展開し、公立保育園として行政機関の役割を担い、地域に根ざした保育を引き続き実施していきたいと思えます。

コロナ禍の中で、何度も足をお運び、ご尽力を頂いた評価機関のご担当様、ご多忙にもかかわらず、利用者家族アンケートにご協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり